

自主防災組織を応援します.....

東日本大震災などの広域災害では、消防署や警察などの防災機関は、同時にすべての現場に向かうことはできません。「わがまちは、わが手で守る」ことが、最も効果的な方法であり、平常時や災害時の自主防災組織の活動体制によっても、地域防災力に大きく影響することになります。

本市では、共助の中心的な担い手である町内会に対し、自主防災組織の結成を推進しています。

4月末現在での結成率は、66.2%となっており、本市長期総合計画の目標値の90%を目指し、地域防災力強化のため、さらに、組織率の向上を図る必要があります。

このため、本市では、自主防災組織の結成や活動を推進するために次の支援事業を行っています。

今年度も、さらに支援事業の有効な活用が図られるよう町内会への説明会を開催します。

○自主防災組織助成事業

新しく結成した自主防災組織を対象に、地域のハザードマップの作成費用の2分の1の助成や、構成する世帯数に応じて、担架、ハンドマイク、ヘルメット、のこぎり、倉庫などの防災資機材を支援する事業で、自主防災組織の結成推進を目的。



○自主防災組織支援事業

自主防災組織を対象に、備蓄食糧や備蓄倉庫などの購入、防災研修会に係る費用など独自の活動や防災資機材の購入に対して世帯数に応じて1団体あたり平均で10万円を支援する事業で、自主防災組織の活動体制の強化を目的。



○出前防災研修会

東日本大震災や過去の地震津波の課題から、自助、共助、公助のそれぞれの役割と連携の大切さをテーマに、市民向けの防災研修会を町内会などの要望に応じて実施。

塩竈市総合防災訓練に参加しましょう！



と き	6月9日(日) 9:00~11:30
メイン会場	杉の入小学校
訓練対象区域	市内全域 (各指定避難所)

市では、宮城県沖地震が発生した翌年の昭和54年度から、「県民防災の日」に併せ地震や津波発生に備えた「塩竈市総合防災訓練」を実施しています。

今年は、6月9日(日)午前9時に震度6強の地震が発生し、同時に大津波警報が発表されたとの想定で、杉の入小学校をメイン会場とし、市内全域で訓練を実施します。

また、本年度は、各小中学校を登校日とし、全児童生徒についても、参加することになっています。

東日本大震災の教訓の継承や日ごろの防災意識を高めるためにも、多数の市民の方々、町内会、自主防災組織の皆さんのご参加、ご協力をお願いします。



(左) 消防隊員から救急救護の仕方を教わる
(下) 濃煙を体験することができる



昨年度に第三小学校で行われた総合防災訓練の様子。
当日、市内全域で市民約2,800人が参加

問 市民安全課防災係 ☎364-1111 (内線245)